

第36回廃棄物資源循環学会研究発表会 消費者市民部会 企画セッション

特別上映!! 『リペアカフェ』 & 東海北陸地方の3R市民団体大集結!

【趣旨】

ごみの減量には、3Rよりも2Rが重要です。リペアして長く使うリデュース、あるいは自分ではない誰かに使ってもらうリユースを進めていくのが真のサーキュラーエコノミーであると、消費者市民研究部会は考えています。

でも、「修理したいけれど、どうして良いか分からない」という声もよく聞かれます。リペアショップ、あるいは販売店に修理を依頼することもできますが、断れられることもあるでしょうし、依頼先が不明なものも多いでしょう。また、自分の手で直したいという消費者も、きっと多いと思います（少なくとも当学会関係者やこの場に集う市民団体の皆さまの中には!）。

そこで登場するのがオランダ発祥の「リペアカフェ」です。自分の手を動かして「つくる」こと、修理やリペアだけでなく、持ち込んだ人・直す人のコミュニケーションを楽しめるのが「リペアカフェ」。近くにあったら良いと思いませんか? この映画はそんなリペアカフェのドキュメンタリーです。特別上映いたしますので、ぜひご覧ください。

【日時・会場】 9月17日（水）15:15-16:45

名古屋大学東山キャンパス オークマ工作機械工学館2F 講義室 （第6会場）

【プログラム】

- 1.開会の挨拶と趣旨説明
- 2.市民展示の出展団体による取り組みのリレー発表
- 3.ドキュメンタリー映画『リペアカフェ』 特別上映
- 4.感想の共有・意見交換



★オンライン配信申込はQRコードまたは以下のリンクから9月15日までをお願いします。

<https://forms.gle/ti1aUPagsrTZ3Gaz9>



【作品情報】 『リペアカフェ』 「修理したいのはモノだけじゃなかった。」

お店では修理を受け付けてくれない壊れた家電や服、自転車など、あらゆるものを地域のボランティアが無料で直してくれるオランダ発祥のリペアカフェ。彼らはモノを修理するだけではない。

離れ離れになった家族の「思い出」、疎遠になりつつある地域の「コミュニティ」、捨てることを前提に成り立つ消費社会の「システム」...

リペアカフェにはどのような人とモノが集うのか? 壊れかけた「モノ以上のもの」を直す人々の物語がここにある——

（30分 | 日本語字幕 | 英題 The Repair Cafe |
制作年: 2024年 | 企画制作 IDEAS FOR GOOD）

■注意事項

- ・録画や録音はご遠慮ください。
- ・イベントの様子を記録させて頂き、広報等に使用させていただきますことがございます。予めご了承ください。
- ・終了後アンケートにご協力ください（内容は今後の作品の広報に使わせていただくことがございます）。